

2 0 2 4 年 度

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

事 業 計 画 書

学校法人 貞静学園

東京都文京区大塚一丁目2番10号

電話 03(3943)3711

2024年度 事業計画書

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

学校法人貞静学園

学校法人貞静学園は2024年度に創立94周年を迎えます。創立以来、本学園は、学生・生徒・園児数増減の波はありましたが、建学の精神である「至誠（心から誠実・真摯に人と向き合う）」、「和敬（人を敬い人と協調していく）」、「慈愛（人やものを慈しみ愛する）」を基盤として、「これからの社会に役立つ、人間性豊かな知性と教養ある人材の育成」をめざし、教職員が教育力・指導力・事務業務力の向上を図るとともに、学生・生徒・園児が充実した学園生活を送れるよう、教育環境を整えてきました。

2020年に発生した新型コロナウイルス感染拡大も、2023年5月に第5類に移行し、以前の生活に戻りつつあります。コロナ禍で、各学校は授業形態・行事等、指導・支援体制を変えざるを得なくなりました。しかし教職員は「アフター・コロナ」の社会は「ビフォー・コロナ」の環境に戻るのではなく、コロナ禍で急速に進んだデジタル化の流れを後戻りさせずに、効果的に教育活動に取り組んで行くことと考え、さらにコロナ禍の取り組みを推進・発展させていくことも視野に入れて指導・支援体制を強化していきます。本学園を選んで入学・在籍している園児・生徒・学生たちが充実した学園生活を送ることができるよう、引き続き教職員が保育・勉学や行事等に工夫を凝らして取り組んでいきます。

学校に求められるのは、教員の教育力（幼稚園の場合は保育力）、職員の事務業務力の向上、学生・生徒の学力・満足度の向上であることはいまでもありません。2024年度も、各教員が授業の内容を検証し、教育力の向上を図り、それがより良い広報活動につながれるよう、全学園的に引き続きFD活動、SD活動を強化していきます。

短期大学は、短大をめぐる状況が年々厳しくなっている状況下で、募集活動をさらに一層強化し定員を確保しなければなりません。

高等学校は、目指す目標・方針を明確にし、学力のレベルアップをはかり募集活動に力をいれ、進学実績向上をめざし受験指導に力を入れていきます。

中学校は、日常生活を送る上での常識となる基本を徹底し、一人ひとりの生徒の学力の向上をめざしていきます。

幼稚園は、保育力の強化を図り、園児が充実した幼稚園生活を送れるよう、また保護者の満足度が増すよう保育環境の工夫を強化していきます。

事務部職員は、法人事務局を中心として、学園の事務組織体制を検証するとともに、各学校事務部職員が様々な研修等に参加し、業務能力の向上を目指していきます。

本学園の財務面における現状は依然として厳しい状態にあります。その改善のためには、引き続き学生・生徒・園児の定員確保に全教職員で取り組み、各学校が無駄な出費をおさえ、財務改善を実施していくことを喫緊の課題として取り組んでいきます。

I. 学校法人の概要

1 設置する学校・学科等

(1) 学校法人の設立年月日 昭和16(1941)年4月28日

(2) 設置する学校・学科等

学校名	開校年月日	学部・学科等
貞静学園短期大学	平成21年(2009) 4月1日	保育学科 専攻科介護福祉専攻 ※2024年度募集停止
貞静学園高等学校	昭和23年(1948) 3月10日	全日制課程普通科
貞静学園中学校	昭和22年(1947) 4月1日	
貞静幼稚園	昭和30年(1955) 11月25日	

2 各学校・学科等の収容定員、現員の状況

2024年4月1日予定

(単位:人)

学校名	入学定員	収容定員	学生数・生徒数・園児数			
			1年次	2年次	3年次	計
貞静学園短期大学						
保育学科	120	240	36	80	—	116
専攻科介護福祉専攻	40	40	募集停止	—	—	—
貞静学園高等学校	300	900	193	173	188	554
貞静学園中学校	50	150	22	26	14	62
貞静幼稚園	35	105	30	39	43	112
合計	545	1,435	281	318	245	844

3 教職員数の概要等

学校別の教員数及び職員数

2024年4月1日予定

(単位：人)

区分		法人	短期大学	高等学校	中学校	幼稚園	計
教員	本務	0	13	38	4	9	64
	兼務	0	8	31	2	1	42
職員	本務	3	9	8	2	0	22
	兼務	1	5	17	0	3	26
学校計		4	35	94	8	13	154

Ⅱ. 各部門の事業計画

貞静学園短期大学

1. 学生募集の充実・強化

※到達目標：保育学科入学者：定員 70名確保

(ア) オープンキャンパスの戦略的展開

- ・早期来校を集中的に強化するため、早期に広報展開
- ・常に受験生視点で来校増加、出願促進につながる内容を計画
(体験授業の選択制、プログラムの早期明確化と告知など)
- ・プログラム構成、役割分担等での対応強化による満足度向上
- ・参加者アンケート等のデータ分析とフォロー対応

(イ) WEB戦略

- ・受験生の進路活動状況をふまえ、Instagram・Twitter・LINEによるSNS広報活動強化
- ・WEB広告を実施し、認知拡大を効率的に強化
- ・学生募集管理ツールを活用し、HP閲覧等の対象者をWEB上で段階に応じて個別にアプローチ。来校、出願率アップを最大化

(ウ) 高等学校への広報活動や連携の活性化

- ・高校訪問の重点校強化と指定校の拡充
- ・進学説明会の在り方の検討
- ・出張授業およびガイダンス、本学実施の体験授業の強化
- ・貞静学園高等学校と本学の間で定期的に会議を行い、高大接続体制の構築

(エ) 入試手法全般の検証

奨学金制度の新設と、各選抜方法の特徴を明示し、受験者層を拡充

(オ) 広報活動につながる学内体制の整備・充実

学生募集のため、授業や学生生活、卒業後の進路をはじめ、ステークホルダー全体の満足度向上が必要となるため、全学体制での取り組みを整備

2. 官学連携、地域貢献、公開講座の強化

※到達目標：貞静学園短期大学の学科の特性を生かし、他大学との差別化を図った地域貢献を実施

(ア) 官学連携

- ・文京区との連携事業として「文京区子育てサポーター認定制度のための子育て支援員基本研修」を4回開催開催（開発費・企画費・教材費等獲得）。
- ・文京区との「災害時における母子救護所の開設に関する協定書」に基づき、避難所として施設提供。物資の備蓄場所提供。
- ・授業科目「キャリア教育」に絡めた活動を主に、大塚警察署、小石川消防署との連携を継続。
 - ・文京アカデミア講座の実施（夏休み子どもアカデミア講座、アカデミア講座の実施）。

(イ) 地域貢献事業の拡大

- ・地域のお祭り、大塚警察署活動等への積極的なボランティア参加。
- ・東京都、文京区等が開催するイベントへの参加（協力行事多数）。
- ・体育館・教室等の貸出拡大を検討。

(ウ) 各種公開講座の開講（本学主催）

- ・各種公開講座の継続実施（フラダンス、生け花、運動遊び）。
- ・新規講座の検討。

3. 教育活動ならびにFSD活動による教員と事務職員との連携強化

教職員の資質向上

※到達目標：FSD活動の充実による教職員・学生満足度（授業評価アンケート・事務部アンケート等）の向上

- (ア) 自己点検・評価活動の継続、研修事業への積極的参加
- (イ) SD活動の活性化（事務職員の専門性の向上）
- (ウ) 教員の外部資金獲得による研究活動の活性化
- (エ) FD活動の活性化。教員の授業研究及び教育力の向上
- (オ) 本学独自のFSD活動のため、教職員合同研修会の実施
- (カ) 教育DXの推進

4. 学生指導・支援体制の強化

※到達目標：2種類の資格・免許取得率の維持向上、卒後教育の実施

- (ア) 入学予定者のための入学前教育の強化
- (イ) 新奨学生制度の設定
- (ウ) 本学独自教科「キャリア教育」の実施
- (エ) 「アセスメントテスト」（基礎学力リサーチ）を毎年実施し、学生の基礎学力を把握
- (オ) 学生のボランティア活動充実のための支援体制強化
- (カ) 卒後教育の展開を図るための戦略の検討
- (キ) 卒後教育のための同窓会との連携強化（図書事業・講演会等）

5. グローバル化の推進ならびに他大学との協同

※到達目標：オーストラリア短期留学が実施できる履修者数（10名以上）を確保する

- (ア) オーストラリア、ブリスベンにあるグリフィス大学への短期留学を実施
- (イ) 跡見学園との協同

6. 緊急時・災害時への対策、施設設備の維持管理および整備

※到達目標：感染症対策の継続。来る災害への備え。大学施設設備の整備。

- (ア) 防災備蓄品の点検
- (イ) 施設設備の維持管理および整備

貞静学園中学校・高等学校

I. 事業の目標

1. 生徒募集活動の強化
2. 教学の発展
3. グローバル教育の推進
4. キャリア教育
5. 教員の教育力の向上
6. 災害時の備え・施設設備の維持管理
7. 教職員の業務環境整備

II. 事業の内容

1. 生徒募集活動の強化

※到達目標：中学募集 25 名、高校募集 190 名（中高総募集人数 215 名）

<注力点>

- ・2023 年度の募集活動の課題を分析し、本校の特色（「学力の伸びがある」「きめ細かな面倒見の良い指導体制」）となる教育活動や成果を積極的にアピールする学校訪問・塾訪問、外部説明会、学校説明会など募集活動を計画・展開する。
- ・本校の日々の教育活動、とりわけ特色ある活動について、HP・YouTube・Facebook などを活用して積極的に発信していく。
- ・学校説明会、受験イベントの来校率を上げるべく改善し、受験出願者増を目指す。
そのために塾・中学校との連携、訪問活動の強化、日程の工夫を行い、塾訪問においては外部委託（インターエデュ）を継続利用する。
- ・高校入試、中学入試において、受験者数を増やすための入試方法の見直しを行う。
- ・コース設定の在り方、コース別募集方法、学級編成等の精査、改善を行う。

<注力項目>

(ア) 新コンセプトに基づく学校案内作成と認知度向上

◆コンセプト

- ・共通：生徒の不安な心情を青で、それに対する先生の対応・フォローを赤で表現し、それが合わさりスクールカラーの紫になる、というストーリーを視覚的に表現する。

◆キャッチコピー

高：TEISEI colors make my style. 中：TEISEI colors make each style.

(イ) 塾・中学校訪問の強化

(ウ) HP・YouTube・Facebook の一層の積極的活用

(エ) 校内外の説明会、体験入学、受験相談会の効果的な時期での実施と内容の充実、日程の工夫

(オ) 入試要項の見直し・整理（コース制、入試方法、合格基準等の精査、改善）

2. 教学の発展

※到達目標：大学短大 80%以上の維持。G-MARCH10 件、国公立大、理系医療・看護系有名大、成成

明学独国武、有名女子大、日東駒専、大東亜帝国の合格者増。

「学び直し」による基礎固め重視で検定合格者の増加

<注力点>

※教務的分野

- ・「新学習指導要領」対応の完成。趣旨に即した学習指導の充実。
- ・英語・数学を中心に学び直しの徹底による、生徒の基礎学力を定着、検定試験合格者の増加。
- ・学びの自立を図るための学力試験結果の積極的な活用。
- ・学びを中心とする英語教育の評価と課題に即した改善。
- ・学級の編成方法、コース制の在り方、選択教科の設定の在り方の精査、改善

※進路指導的分野

- ・受験講座、各種講習会の充実（「4. キャリア教育」参照）

※ICT 教育分野

- ・iPad を活用し、スタディサプリや Teams などのアプリを利用して、生徒⇄生徒、生徒⇄教員の双方向授業（一人ひとりの学習活動の即時把握と個別指導）の一層の充実。

<注力項目>

- (ア) 「新学習指導要領」の趣旨に則り、「学び直し」と連携した授業の充実
- (イ) ICT を活用した授業の一層の充実
- (ウ) 基礎学力の定着と向上に向けての授業、講座、補習の充実

3. グローバル教育の推進

※到達目標：外国語（英語）4 技能の強化による英語の学力の向上

英語による実践的なコミュニケーション能力の向上

英検の合格者数増（中学は3級 高校は準2級、2級を目指す）

<注力点>

- ・国籍や生活スタイル、宗教、価値観の多様性に留まらず、物事をどう見るか、どのように分析したり評価したりすることができるかという視点を身につけて、グローバル人材の育成を図る。
- ・スタディサプリ English の導入・活用、JET による英会話指導により、4 技能対応・英検の合格者数増を目指す。

<注力項目>

- (ア) JETプログラムを多様に活用した授業の充実進
 - ・日々の授業、英検対策、ESS部活動
- (イ) 英検上級クラス取得化の促進
 - ・朝学習での単語力向上、英会話の授業内での英検リスニング、ライティング対策
英検対策講座の実施
- (ウ) 英語体験活動事業の充実
 - (TGG、ニュージーランド短期留学の実施、海外（英語圏）修学旅行、留学再開検討による修学旅行・研修の精査、改善、体系化)

4. キャリア教育

※到達目標：将来の姿（目的）を明確にし、目的に合わせてどこに進むのか（目標）を具体的にもち、一人一人の希望に即した進路実現を達成する。

<注力点>

- ・授業外の進路にかかわる事業の体系化と充実。
- ・上級生による進学に向けた「体系的・実践的」及び「基礎的・汎用的」情報、社会人による高校段階での学びや進学に関連する情報の提供。
- ・コース別ステップアップ、学校における基礎的、発展的な情報提供。
- ・入試における進路情報の精査及び共有。
- ・コースの特色に即したコース事業の充実。
- ・各教科と連携し、大学進学に向けた指導体制の確立。

<注力項目>

- (ア) 進路講演会、社会人講話の充実
- (イ) 志望理由書・小論文・面接対策講座等受験講座の体系化と充実
- (ウ) 総合的な学習の時間（人権課題）総合的な探求の時間（SDGs）の充実
- (エ) コースの特色を生かした交流会の充実
- (オ) 進路情報・受験情報の収集・分析・精査で価値ある情報の提供

5. 教員の教育力向上

※到達目標：教育の最新情報収集、教員研修に積極的に参加し、社会のニーズに応じた教育活動に生かす。

<注力点>

- ・「新学習指導要領」全面実施に即した授業力向上を図るための研修奨励。
- ・2025年度大学入試変更に係る研修奨励。

<注力項目>

- (ア) 2025年度大学入試に対応する各種研修会・勉強会への参加奨励
- (イ) 教員評価の実施と活用

6. 災害時の備え、施設設備の維持管理、未来を見据えた安定的な施設・設備の整備

※到達目標：管理業務予定等に沿って、定常的メンテナンス及び更新工事の実施、災害予防対応などを行う。

未来を見据えた安定的な施設・設備の整備を行う。

防災備蓄品の充実。

教員の救急救命スキルの向上。

<注力点>

- ・災害時対応の強化
- ・施設、設備の安全点検及び更新作業

<注力項目>

- (ア) 防災備蓄品と装備の充実

(新入生用防災備蓄品サバイバル3の確保、備蓄品の補充・入れ替え管理)

(イ) 救急救命・防犯への対応力強化(救急救命講習会、防犯訓練)

(ウ) 情報セキュリティ対策の強化

(エ) 定期的メンテナンス

防災等設備定期点検、建築設備等定期点検

(オ) 高圧ケーブル更新

第一体育館ロールバックチェア駆動用部品交換

美術室屋上防水工事

中庭手洗い場修繕

教室扉交換

教室内の電子黒板機器の段階的な整備

7. 教職員の業務環境整備

※到達目標：優秀な教員の確保や維持に向けた取り組みを推進

<注力点>

- ・優秀な教員確保のため、必要な教員の見通しをもち、年間を通して計画的な教員採用
- ・内に開かれた学校体制、効率的な勤務環境の整備
- ・私立中学高等学校協会との連携による勤務環境体制の整備

<注力項目>

(ア) 必要な教員数を見通した年度当初からの計画的な教員採用

(イ) 教職員への適切な心と体の健康管理

例 健康診断、ストレスチェック

(ウ) 業務・作業の効率化

- ・ICT等の積極的活用による校務の効率化

例 office365、教務システム(Siems)、通学順路票

- ・校内備品の充実

例 備品の安定的な調達、機能的な備品の調査

- ・印刷業務の環境維持

例 試験前等の定期メンテナンス

(エ) 私立中学高等学校協会第四支部幹事校(2023年度から)、支部長校(2027年度)を見通した情報共有・連携体制の整備

貞静幼稚園

I 事業の目標

1. 園児募集活動の充実
2. 保育力・指導力の向上
3. 保育の充実と保育環境の整備
4. 災害時の備えの強化

II 事業の内容

1. 園児募集活動の充実

※到達目標：年少組入園者数40名【募集定員】

- (ア) ホームページ「TEISEI つうしん」の更新
- (イ) 見学会・入園説明会の実施
- (ウ) 地域施設での入園案内の頒布
- (エ) 転入園児の積極的な受け入れ

2. 保育力・指導力の向上

※到達目標：園児の成長をより支援するために保育力・指導力を高める。

- (ア) 研修会への積極的な参加
- (イ) 園内研修の充実

3. 保育の充実と保育環境の整備

※到達目標：保育環境の向上を目指し、保護者の満足度を高める

- (ア) リトミック、キッズ英語、茶道教室の実施
- (イ) 体操教室、サッカー教室の実施
- (ウ) バスケットボール教室、チアダンス教室、野球教室の実施
- (エ) 知育玩具の購入
- (オ) 電子黒板、書画カメラ等の導入
- (カ) 貞静学園高等学校、貞静学園短期大学との連携
- (キ) 預かり保育の拡充

4. 災害時の備えの強化

※到達目標：災害時に園児を安全に避難させる。また、非常食の補充を行う。

- (ア) 避難訓練の充実
- (イ) 安全点検の充実
- (ウ) 非常食の購入